

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷南高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「『知・徳・体』の調和」や「文武両道」など、校訓を盛り込むことで学校として目指す方向を簡潔に表した学校像である。生徒の実態や学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、学校の特色を踏まえた適切かつ明確な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度から重点目標が刷新され、難関大学等への進路実現など学校が目指すところが示されている。保護者などの期待や生徒の実態を踏まえ、課題を解決するため、もう一步踏み込んだ目標の重点化を進めると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年・教科が連携し、「業務改善シート」を通じて方策を全教職員で共有するなどして学校自己評価システムが運営されている。前年度に比べ評価項目に改善がみられるが、年度の達成目標として大きな方向性を示すものとなるように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校進学力パートナーシップ推進事業による授業評価アンケートや、業者提供の学習支援システムの活用など様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、評価運営委員会が適切に機能しており、教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	授業評価アンケートを実施し、それを基に学年や分掌等で授業改善につながるよう課題の整理や対応を検討している。課題や次年度への改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように授業評価以外の各種アンケートの工夫を進め、学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			